

## 「河北町立小学校の整備に向けた基本方針（案）」に対する意見について

提出された意見の概要及び当該意見に対する教育委員会の考え方

No.	意見概要	意見への教育委員会の考え方
1	<p>小学校統合・小中一貫校のいずれも反対。</p> <p>地域から保育所・幼稚園をなくしたその後の状況を見ると、小学校までなくした場合に地域のさらなる衰退が心配。</p> <p>学校の少子化については、中部・南部地区以外の地区の意見を主に聞くべきであり、少人数を生かして子どもたちにベストな教育環境を整えるべきではないか。</p> <p>小学校統合についてはいろいろと分析しているのが伝わるが、一方でなぜ中学校との統合が必要なのかが案には述べられてなく、なぜ小中一貫に持っていくのか唐突な印象を受ける。小学校統合は人間関係を固定化し、小中一貫校はさらに長期にわたって人間関係を固定化し、いじめや不登校の心配がある。当事者である子どもたち自身の意見を聞くべきではないか。</p>	<p>児童生徒数の減少に伴う教育環境の変化に対応し、子どもの学びの環境を第一義として考え、これからの時代を担う子どもたちにより良い教育環境を提供していくために、基本方針をまとめております。</p> <p>小学校統合については、一定の規模を確保することにより、クラス替えが可能になり人間関係が固定されないというメリットがあると考えます。また他者とのつながりが広がる、コミュニケーション能力が高まる、集団での振る舞いが身につく社会性が育つ、他の児童生徒や多数の教員の考えに触れ多様性が身につく、という点に教育的価値があるものと考えます。</p> <p>また、小中連携や一貫教育に取り組む理由のひとつとして、小学校から中学校への接続を円滑化する点があげられます。生活・学習の両面において、これまで以上に、小学校高学年から中学校入学後までの期間に重点的な取組を行う必要があると認識しております。</p> <p>学校を一つの核とした地域づくりについては、新たな視点に立った地域づくりの方向づけなど、今後、第8次河北町総合計画後期基本計画等の重要な検討課題の一つとして位置付けてまいります。</p>

<p>2</p>	<p>小学校を一つにする案には賛成。今後の人数減を考えればやむを得ないが、子供・地域・保護者の意見を再検討すべきであり、以下の点（No.2～5）を検討課題と考える。</p> <p>「小中一貫校を考える必要はない」：中一ギャップ解消のためというが、河北町は小中連携がなされており、特に小中一貫校にこだわる必要はない。今ある施設(河北中・中部小)を使っても問題ないと考える。小中一貫校の必要性やしくみについての論点が不明であり、理解を得ていない。</p>	<p>小中連携や一貫教育に取り組む理由のひとつとして、小学校から中学校への接続を円滑化する点があげられます。生活・学習の両面において、これまで以上に、小学校高学年から中学校入学後までの期間に重点的な取組を行う必要があり、学校におきましては、ひとりひとりの実態に合わせた指導を丁寧に取り組んでおります。現在、町では中1ギャップがないというわけではなく、今後も小学校からの連続性に着目することで、中学校での問題を解消するよう努めてまいります。</p> <p>なお、「基本方針（素案）」について各地区での説明会や、幼稚園・認定こども園での説明会及びウェブでのアンケートを行い、ご意見をいただいたうえで、基本方針（案）を策定しております。</p> <p>基本方針の策定過程においていただいた多くの意見につきましては、これから策定に着手します「基本構想・基本計画」及び第8次河北町総合計画後期基本計画等において、議論検討を重ね対応してまいります。</p>
<p>3</p>	<p>「予算の裏付けがない」：予算面を抜きにして語ることは現実味に欠ける。様々なケースの概算が示されないと判断できず、今ある校舎を活かすことが良いと考える。</p>	<p>財政面につきましては、今後、学校整備委員会（仮称）を設置し「基本構想・基本計画」を策定していく過程において、ランニングコストや有利な財源等について、より具体的に検討してまいります。</p>

4	<p>「特色ある教育を」：「ふるさとに学び、いきいきと学び合い、互いに高め合える教育活動」を推進するとあるが、具体的な方向性がない。本気になって「学力の向上」と「ふるさとに学ぶ」教育を進めていくという青写真がないと絵に描いた餅になってしまう。せめて2・3本の柱や方向性を示して欲しい。</p>	<p>今後、学校整備委員会（仮称）を設置し「基本構想・基本計画」を策定していく過程において、または開校準備委員会（仮称）においてより具体的に検討し、令和8年度に策定する第3次河北町教育振興計画にも反映させてまいります。</p>
5	<p>「登下校問題への対応」：小学生の通学範囲が大きく広がるため、下校問題をどう解決していくのか。学童クラブとどのように連携を図っていくのか、という点が触れられていない。保護者にとっては大きな関心事であり、不安材料である。</p>	<p>通学に対する配慮や放課後学童クラブについては、学校新設にあたっての配慮事項として基本方針に掲げており、今後、学校整備委員会（仮称）を設置し「基本構想・基本計画」を策定していく過程において、または開校準備委員会（仮称）においてより具体的に検討してまいります。</p>
6	<p>学校統合後、河北町式寺子屋を設置してはどうか。旧校舎を活用して、放課後児童クラブと学校の間隔的なもので、運営はボランティアで児童の居場所づくりのようなものを。スタッフは教員OBや地域住民のボランティア等で。</p>	<p>統合後の校舎の利活用については、地域づくりの観点からも重要であり、第8次河北町総合計画後期基本計画策定における、重要な検討課題の一つと認識しております。いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。</p>
7	<p>新しい校歌・校章を決める場合は、経過も含めた情報公開をきちんとし、皆に納得してもらう方法をとって欲しい。校歌は子供から出された言葉を組み合わせしていくのも良いのでは。形にとらわれないものを希望。</p>	<p>今後、学校整備委員会（仮称）を設置し「基本構想・基本計画」を策定していく過程において、または開校準備委員会（仮称）においてより具体的に検討してまいります。</p>

8	<p>統合して大きな学校になったら、例え河北町出身だとしても、問題の多い教員を引き受けないでほしい。</p>	<p>教員の配置につきましては、円滑な学校運営が図られるよう、適切な配置を行ってまいります。</p>
9	<p>不登校・いじめ・自殺についてほとんどふれていないようだが、どう考えているのか。</p>	<p>不登校・いじめ・自殺の問題については、現在も教育委員会では最重要課題の一つとして取り組みを進めており、今後も引き続き同様の考え方で取り組んでまいります。</p>
10	<p>各地区での説明や理解は十分であったのか。小学校は地域の校であると思うので、多くの人が集い、本音で自由に話しあい納得するように進めてほしい。もっと時間をかけて納得理解を得てから進めてほしい。</p>	<p>あり方検討委員会では、地区懇談会、町民参加型の検討委員会の意見等を参考にしながら「町立小学校のあり方について（答申）」をとりまとめ、教育長に答申されました。</p> <p>これを受けて教育委員会では答申内容を、教育委員会議、総合教育会議、町議会に報告し、広報かほく・町ホームページにて周知するとともに、これまでの検討経過や検討委員会による答申を尊重しながら「基本方針（素案）」を策定しました。さらに、「基本方針（素案）」について各地区での説明会や、幼稚園・認定こども園での説明会及びウェブでのアンケートを行い、ご意見をいただいたうえで、基本方針（案）を策定しております。</p> <p>なお、基本方針の策定過程においていただいた多くの意見につきましては、これから策定に着手します「基本構想・基本計画」及び第8次河北町総合計画後期基本計画等において、議論検討を重ね対応してまいります。「基本構想・基本計画」についても、説明会の開催や町民の皆様からのご意見をいただき策定してまいります。</p>

11	<p>統合の歴史から学ぶことが必要だと思う。これまでの教訓から学びながら統合を着実に進めてはどうか。</p> <p>なお、小学校の統合問題に急に小中一貫校の建設が無理に合わされて提案されて、よく理解できない。統合は規模配置が中心で、一貫校は教育内容・方法が中心で両者は関連するとはいえ別のものではないか。</p>	<p>児童生徒数の減少に伴う教育環境の変化に対応するため、子どもの学びの環境を第一義として考え、これからの時代を担う子どもたちにより良い教育環境を提供していくために、基本方針をまとめております。</p> <p>小中連携や一貫教育に取り組む理由のひとつとして、小学校から中学校への接続を円滑化する点があげられます。生活・学習の両面において、これまで以上に、小学校高学年から中学校入学後までの期間に重点的な取組を行う必要があると認識しております。</p> <p>基本方針の策定過程においていただいた多くの意見につきましては、これから策定に着手します基本構想・基本計画及び第8次河北町総合計画後期基本計画等において、議論検討を重ね対応してまいります。「基本構想・基本計画」についても、説明会の開催や町民の皆様からのご意見をいただき策定してまいります。</p>
----	--	--

<p>12</p>	<p>小学校の統合あるいは中学校を巻き込んだ学校づくりについて、その理由は少子化による児童生徒の減少と教育環境の変化への対応のためだろう。その動きは、かつての中学校統合の時とよく似ていると感じる。(他の地域の話として)当時も地域の将来への不安の声が出され、結果地域社会の課題解決は進まず、むしろ過疎化・少子化を加速させてしまったのではと考える。町の中の大きな学校という視点からだけでなく、頑張っている小さな学校からも学ぶ必要があるのではないかと考える。もっと時間をかけて多くの意見に耳を傾け考えてもらいたい。小中一貫校にする意味、校舎の利活用策を盛り込んだ基本方針を出してほしい。</p> <p>町の70周年記念にあたり、改めて町村合併の歴史を振り返り、その中に小学校の合併や小中学校教育の問題を位置付けた基本方針を示してほしい。慎重に進めることをお願いしたい。</p>	<p>児童生徒数の減少に伴う教育環境の変化に対応し、子どもの学びの環境を第一義として考え、これからの時代を担う子どもたちにより良い教育環境を提供していくために、基本方針をまとめております。一方、小学校の統合が与える地域コミュニティへの影響が大きいことも認識しております。</p> <p>基本方針の策定過程においていただいた多くの意見につきまして、これから策定に着手します「基本構想・基本計画」及び第8次河北町総合計画後期基本計画等において、議論検討を重ね対応してまいります。「基本構想・基本計画」についても、説明会の開催や町民の皆様からのご意見をいただき策定してまいります。</p>
<p>13</p>	<p>今回のパブコメは、告知方法、募集期間に問題がある。</p> <p>告知方法について、町民が大いに関心があるテーマのパブコメは、町報や町 LINE・HP など、多様な手段を使い町民に告知すべき。HPのトップページ「重要なお知らせ」や「新着情報」に掲載すべき。現在は、「募集・採用情報」に掲載されており、これは職員採用などの情報を期待する人が見るページであり、一般町民には閲覧する動機がおきない。町民に関心のある案件は、トップページに見やすく掲載し、広く町民や関係者の意見を求めては。</p> <p>また、募集掲載から募集締切までの期間が2週間しかなく短すぎる。募集掲載は締切の1カ月前までに実施し、その間に十分町内・関係者で議論を行えるような時間を確保すべきでは。</p>	<p>現在パブリックコメントの実施にあたっては「河北町パブリックコメント手続に関する要綱」に基づき実施しております。</p> <p>公表及び周知の方法につきましては、要綱第6条(1)実施機関が指定する場所での閲覧及び(2)町のホームページへの掲載としておりますが、ホームページでの掲載方法につきましてはご指摘いただいたご意見を参考とし、より見つけやすい配置となるよう改善してまいります。</p> <p>募集期間につきましては、今後より多くの意見をいただける期間となるよう検討してまいります。</p>

14	<p>素案では「新設小中一貫校への統合」を提唱してるが、関係する情報を提示し、論点ごとに町民の意見を問うべき。</p> <p>今後の学童数予測をもとに、一校統合が望ましいとの結論にいたったと認識しているが、少子化は加速しており、統合時期には予想よりも児童の減少が懸念される。</p> <p>河北中の統合時の様々な議論や問題を実体験していないが、地域のつながりの希薄化、出身地域起因での生徒間トラブル、通学に関する問題等を克服し今日があると思う。今回の統合でも、当時の経験や今日の河北中の状況を分かり易く説明してはどうか。</p> <p>個人的には、統合による地域のつながりの希薄化や通学等の課題、出身地の違いによる児童間のトラブルの発生等のデメリットはあっても、統合しない場合のデメリットを考えると、統合によるメリットのほうが大きく、一校統合の方針は妥当と考える。</p>	<p>児童生徒数の減少に伴う教育環境の変化に対応し、子どもの学びの環境を第一義として考え、これからの時代を担う子どもたちにより良い教育環境を提供していくために、基本方針をまとめております。</p> <p>基本方針の策定過程においていただいた多くの意見につきまして、これから策定に着手します基本構想・基本計画及び第8次河北町後期基本計画等において、議論検討を重ね対応してまいります。「基本構想・基本計画」についても、説明会の開催や町民の皆様からのご意見をいただき策定してまいります。</p>
----	--	--

15	<p>小中一貫（義務教育校を含む）の方針は結論を急がず慎重に議論すべき。現状の小中分離と小中一貫には、それぞれメリットとデメリットがあり、それらを明らかにし町民の意見を得るべきでは。現在の基本方針はメリットだけが記載され、小中一貫にはデメリットがあることを隠しているようだ。小中一貫には、学力の向上、施設や職員の共有、カリキュラムの柔軟化などのメリットがある一方で、人間関係が固定化し、なじめない児童に逃げ場がなくなるといった弊害もある。都市部であれば、小中一貫校か従来型校を選択可能だが、河北町では他に選択肢がなく、いやならば転出することになる。</p> <p>個人的には、小中一貫のメリットを否定するものではないが、十分な情報開示のうえ、町民の意見を得るべき。</p>	<p>小中連携や一貫教育のメリット・デメリット等について、今後学校整備委員会（仮称）において十分検討してまいります。</p> <p>なお、基本方針の策定過程においていただいた多くの意見につきましては、これから策定に着手します「基本構想・基本計画」及び第8次河北町総合計画後期基本計画等において、議論検討を重ね対応してまいります。「基本構想・基本計画」についても、説明会の開催や町民の皆様からのご意見をいただき策定してまいります。</p>
16	<p>校舎新設の根拠が、①小中一貫型であれば中学校の隣接した敷地が合理的、②「現校舎では収容できない」、③既存校での統合は吸収されるイメージがあり抵抗感がある、だと認識している。</p> <p>①は中学校に隣接する場所への新設が合理的だが、②と③には疑問が残る。新設には多額の費用がかかり、小規模の増築でも対応可能ではないか。重要なのは、統合後の学習環境の充実やスクールバスなど、ソフト部分に予算をかけることではないか。新築と既存校活用の場合の費用を明らかにし、新設が必要か問うべき。</p> <p>新築した場合でも運用ソフト面に十分に予算が確保でき、新しい環境で学ぶことが多くの児童により影響を与えるのならば、必ずしも新設に反対するものではないが、必要予算や財源等を明確にして、町民に問うべき。</p>	<p>あり方検討委員会や地区説明会において、「できるだけ早い段階での統合」、「今ある学校ではなく新しくひとつの学校」というご意見をいただき、基本方針を策定しておりますが、財政面につきましては、今後、学校整備委員会（仮称）を設置し「基本構想・基本計画」を策定していく過程において、ランニングコストや有利な財源等について、より具体的に検討してまいります。「基本構想・基本計画」についても、説明会の開催や町民の皆様からのご意見をいただき策定してまいります。</p>

17	<p>基本方針（素案）には、スクールバスを運用すると記載されているが、スクールバスの形態（発着所、本数、時間帯など）に関してほとんど言及がない。通学手段は放課後の各種活動なども踏まえて重要な問題であり、具体的なイメージを開示すべき。</p> <p>また、このスクールバスは、通学下校時間帯以外での地域の公共コミュニティの移動手段（病院や空港、駅への移動等）として多目的利用を図るべき。特に下校時は保護者の共同での送り迎えなどのシェアリング交通などの仕組みも検討すべき。</p>	<p>スクールバスの形態等につきましては、今後、学校整備委員会（仮称）を設置し「基本構想・基本計画」を策定していく過程において、または開校準備委員会（仮称）においてより具体的に検討してまいります。</p> <p>なお公共交通の課題につきましては、町としても検討すべき重要な課題の一つと認識しております。</p>
18	<p>各地区にある小学校校舎は老朽化しているとはいえ、十分に活用できるもので、各地域で徒歩でもアクセスできる貴重な地域資源である。緊急時の避難所、地域の看護師常駐型の遠隔診療機能、下校した地域の子供達の交流と学びの場、高齢者の集いの場や地域食堂など、多目的な活用が期待でき、統合後の校舎の活用を同時に検討すべき。この問題は、統合の最大の懸念である地域の絆の希薄化に直結するものである。河北町全体の話として、地域住民と一緒に検討を行うべき。</p>	<p>統合後の現校舎の利活用については、地域づくりの観点からも重要であり、第8次河北町総合計画後期基本計画策定における重要な課題の一つであり、それぞれの地域住民の意見を十分うかがいながら検討する必要があると認識しております。</p>

19	<p>基本方針案に反対。</p> <p>河北中の統合の際、学校が荒れた様子を経験しているので、慎重に進めるべき。子供たちの声、親の声を充分聴いてからでも遅くはない。</p> <p>財政面でも町の負担が増えると思う。また、廃校は地域の衰退につながり、子育て世代が住まなくなってしまうのではないかと。町民の声を充分聴いて検討することを望む。</p>	<p>河北中学校統合の際の事案につきましては、当時の時代背景として全国的な社会問題の一つであったと捉えております。</p> <p>財政面につきましては、今後、学校整備委員会（仮称）を設置し「基本構想・基本計画」を策定していく過程において、ランニングコストや有利な財源等について、より具体的に検討してまいります。</p> <p>「基本構想・基本計画」についても、説明会の開催や町民の皆様からのご意見をいただき策定してまいります。</p>
20	<p>小学校の統合は避けて通れないと感じているが、地域社会の観点からは、一部の地域ではバランスが崩れ廃れる傾向にあるのではないかと。提案として、現在の校舎を生かす方法はどうか。例えば溝延小を1～3年生、西里小を4～6年生で使い、数年おきに使う校舎を変えるなど。非効率かもしれないが、地域とともに歩むことから生まれる事柄が大事なのではないだろうか。</p>	<p>児童生徒数の減少に伴う教育環境の変化に対応し、子どもたちにとって最適な学びの環境を構築するためには、1校に統合することが最適であると考え、基本方針をまとめております。一方、小学校の統合が与える地域コミュニティへの影響が大きいことも認識しております。</p> <p>基本方針の策定過程においていただいた多くの意見につきましては、これから策定に着手します基本構想・基本計画及び第8次河北町後期基本計画等において、議論検討を重ね対応してまいります。</p> <p>なお、統合後の現校舎の利活用については、地域づくりの観点からも重要であり、第8次河北町総合計画後期基本計画策定における重要な課題の一つであり、それぞれの地域住民の意見を十分うかがいながら検討する必要があると認識しております。</p>

21	<p>教育的観点から 小学校統合や小中一貫校は不要で間違いである。複式学級があっても小規模校の方が子どもたちのためになる。</p> <p>子どもが減るからと、小学校の1校統合を計画しているが、小規模校で複式学級があっても、子どもたちはのびのび勉強し成長している。逆に、クラス替えや切磋琢磨のための学校統合は、子どもたちに不要なストレスを増やしてしまうのではないか。</p>	<p>児童生徒数の減少に伴う教育環境の変化に対応するため、子どもの学びの環境を第一義として考え、これからの時代を担う子どもたちにより良い教育環境を提供していくために、基本方針をまとめております。</p> <p>小学校を1校に統合し一定の規模を確保することにより、クラス替えが可能になり人間関係が固定されないというメリットがあると考えます。また他者とのつながりが広がる、コミュニケーション能力が高まる、集団での振る舞いが身につく社会性が育つ、他の児童生徒や多数の教員の考えに触れ多様性が身につく、という点に教育的価値があるものと考えます。</p> <p>複数校へ統合した場合は、今後の児童数の推移を見たときに、統合後すぐに単学級の学年が出現し、クラス替えができない状況になることや、児童が2度の統合を経験する可能性があるため、子どもたちにとって最適な学びの環境を構築するためには、1校に統合することが最適であると考えております。</p>
22	<p>1校統合で小学校の教員数は3分の1になり教育力が落ちてしまうのではないか。</p> <p>1校に統合した場合の教員数は、6校ある現在の3分の1になる。子どもひとり当たりの教員数が3分の1になり、その分、河北町の教育力が落ちる。地域とその学校の保護者たちが求める時にだけ、学校統合を進めるべき。</p>	<p>教員の配置につきましては、円滑な統合及び学校運営が図られるよう、適切な配置を行ってまいりたいと考えております。</p>

23	<p>河北町内に中1ギャップはなく小中一貫校はいらない。</p> <p>小中一貫校を建設したい基本方針(案)では、主な動機が中1ギャップの解消である。しかし河北町に中1ギャップはないと教育委員会の答弁であり、小中一貫校は不要。</p>	<p>小中連携や一貫教育に取り組む理由のひとつとして、小学校から中学校への接続を円滑化する点があげられます。生活・学習の両面において、これまで以上に、小学校高学年から中学校入学後までの期間に重点的な取組を行う必要があります。学校におきましては、ひとりひとりの実態に合わせた指導を丁寧に取り組んでおります。現在、町では中1ギャップがないというわけではなく、今後も小学校からの連続性に着目することで、中学校での問題を解消するよう努めてまいります。</p>
24	<p>子どもたちは小学校統合や小中一貫校に反対である。</p> <p>こども基本法を守って子どもたちの声を聞けとの質問に、「子どもたちは今の学校に愛着があるので、学校統合や小中一貫校について聞くことは難しい」との答弁だった。</p> <p>子どもたちは、安定した教育環境を求めており、学校統合や小中一貫校に反対である。</p>	<p>学校の統合により子どもたちの環境が大きく変化する点につきましては、十分な配慮が必要と認識しております。統合準備の段階において、子どもたちの不安の解消につながるような取り組みを行っていきたいと考えております。</p>

<p>25</p>	<p>町財政の観点から 小学校統合や小中一貫校は負担が増える。          中学校改築は新築でも大改修でも、同じ町財政の負担になる。小学校は統合し新設すると、建設費のやや半額の補助金があるが、建設費の半額以上は、町財政の新たな大負担（数10億円以上）になる。地方交付税は1校に統合すると、1校当たり約1200万円の5校分、約6000万円の町への交付税が、毎年減額されてしまう。これが、学校統合を強く進める、財務省の狙いの1つである。使える学校を改修し、活用することが財政的には有利では。</p>	<p>財政面につきましては、今後、学校整備委員会（仮称）を設置し「基本構想・基本計画」を策定していく過程において、ランニングコストや有利な財源等について、より具体的に検討してまいります。</p>
<p>26</p>	<p>地域振興の観点から 小学校統合や小中一貫校で町は衰退する。          地域振興と学校の統廃合の観点で見ると、地区の小学校が廃校や休校となってから、その地域には、子育て世代が住まなくなる。学校統合で地域に学校が無くなることは、地域振興に大変なマイナスの影響があり河北町全体の衰退につながるのでは。</p>	<p>基本方針は、児童生徒数の減少に伴う教育環境の変化に対応するため、子どもの学びの環境の改善を中心に据えており、学校を統合し、教育面の充実を図ることで魅力ある河北町を目指すこともまちづくりの観点から重要であると考えます。一方、小学校の統合が与える地域コミュニティへの影響が大きいことも認識しております。          基本方針を受けてこれから策定に着手する「基本構想・基本計画」をふまえながら、校舎の利活用も含め新たな視点に立った地域づくりの方向付けなど、第8次河北町総合計画後期基本計画等の重要な検討課題の一つとして位置付けてまいります。</p>

27	<p>1校への統合は、各地域の未来を衰退させるだけである。</p> <p>未来は子供たちが創るものであり、子供たちが地域にいない、育たないということは、その地域の未来を創る人たちが、いなくなるということである。子供は家族に愛され、地域に見守られて育つ。この安心と安全こそが豊かな人間性を身につける土壌となり、郷土愛を持つことにもなる。</p> <p>各地域にある校舎とグラウンドを活かし、保育所、小学校、学童保育の、地域に密着した子育てと教育の一体型コミュニティーを整備すべき。</p> <p>町民が地域に住み続け、そこに子供たちの声と姿のある社会を目指さなければ、地域だけでなく町にも未来はない。</p>	<p>基本方針は、児童生徒数の減少に伴う教育環境の変化に対応するため、子どもの学びの環境の改善を中心に据えており、学校を統合し、教育面の充実を図ることで魅力ある河北町を目指すこともまちづくりの観点から重要であると考えます。</p> <p>学校と地域のつながりにつきましては、本町では学校と地域住民が協働して学校運営に取り組む「コミュニティ・スクール」を全小中学校で導入し、地域と一体となって特色ある学校づくりを行っており、小学校の統合が行われても、より大きな枠組みで取り組みを継続できるものと考えております。一方、小学校の統合が与える地域コミュニティへの影響が大きいことも認識しております。基本方針を受けてこれから策定に着手する基本構想・基本計画をふまえながら、校舎の利活用も含め新たな視点に立った地域づくりの方向付けなど、第8次河北町総合計画後期基本計画等の重要な検討課題の一つとして位置付けてまいります。</p>
28	<p>教育的観点から、小学校統合や小中統合や小中一貫校は不要で、間違いである。</p> <p>子供が減るからと、小学校の1校統合を計画しているが、小規模校で複式学級があっても、子供たちはのびのび勉強し成長している。逆にクラス替えや切磋琢磨のための学校統合は、子供たちに不要なストレスが増えてしまうのではないか。</p>	<p>児童生徒数の減少に伴う教育環境の変化に対応するため、子どもの学びの環境を第一義として考え、これからの時代を担う子どもたちにより良い教育環境を提供していくために、基本方針をまとめております。</p> <p>小学校を1校に統合し一定の規模を確保することにより、クラス替えが可能になり人間関係が固定されないというメリットがあると考えます。また他者とのつながりが広がる、コミュニケーション能力が高まる、集団での振る舞いが身につく社会性が育つ、他の児童生徒や多数の教員の考えに触れ多様性が身につく、という点に教育的価値があるものと考えます。</p>

29	<p>子供たちは小学校統合や小中一貫校に反対なのではないか。</p> <p>こども基本法を守って子供たちの声を聞けとの質問に、子供たちは今の学校に愛着を持っているので、学校統合や小中一貫校について聞くことは、難しいとの答弁である。子供たちは、学校統合に反対なのではないか。</p>	<p>学校の統合により子どもたちの環境が大きく変化する点につきましては、十分な配慮が必要と認識しております。統合準備の段階において、子どもたちの不安の解消につながるような取り組みを行っていきたいと考えております。</p>
30	<p>河北町内に中1ギャップはなく小中一貫校はいらない。</p> <p>小中一貫校をしたい基本方針案では、その主な動機が中1ギャップの解消である。しかし河北中では、中1ギャップはありません。河北町内に中1ギャップはないと教育委員会の答弁なので小中一貫校は不要。</p>	<p>小中連携や一貫教育に取り組む理由のひとつとして、小学校から中学校への接続を円滑化する点があげられます。生活・学習の両面において、これまで以上に、小学校高学年から中学校入学後までの期間に重点的な取組を行う必要があります。学校におきましては、ひとりひとりの実態に合わせた指導を丁寧に取り組んでおります。現在、町では中1ギャップがないというわけではなく、今後も小学校からの連続性に着目することで、中学校での問題を解消するよう努めてまいります。</p>
31	<p>地域振興の観点から、小学校統合や小中一貫校で町は衰退してしまう。</p> <p>地域振興と学校の統廃合の観点で見ると、地域の小学校が廃校や休校になると、その地域には、子育て世代が住まなくなる。学校統合で地域に学校が無くなることは、地域振興に大変なマイナスの影響があり河北町全体の衰退につながるのでは。</p>	<p>基本方針は、児童生徒数の減少に伴う教育環境の変化に対応するため、子どもの学びの環境の改善を中心に据えており、学校を統合し、教育面の充実を図ることで魅力ある河北町を目指すこともまちづくりの観点から重要であると考えます。</p> <p>一方、小学校の統合が与える地域コミュニティへの影響が大きいことも認識しております。基本方針を受けてこれから策定に着手する基本構想・基本計画をふまえながら、校舎の利活用も含め新たな視点に立った地域づくりの方向付けなど、第8次河北町総合計画後期基本計画等の重要な検討課題の一つとして位置付けてまいります。</p>

<p>32</p>	<p>統合と廃校はセットで考えるべき。廃校の利活用で利益が出るのなら、新規に建設するのは可能だと思う。しかし利活用で収益を上げるのは並大抵でなく、廃校を壊す費用も考慮する必要があるかもしれないが、この収支をプラスにできる方法があれば、採用すべき。利活用の方法を検討、公募し、収益の上がる方法がなければ中部小学校に集約してはどうか。</p> <p>廃校の利活用(案)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. Wifi をセットし部屋ごとベンチャー企業に無償で貸し出す。5年間は無償で貸し出しオフィスとして使用。</li> <li>2. Wifi をセットして廃校をリノベーションし、テレワークのできる住宅に改造し、地方でのテレワークを推進している企業、移住者を呼び込む</li> <li>3. プロスポーツチームの誘致（小学校の無償提供）</li> <li>4. 寒河江 TASHHO のような安価な宿泊施設に改造 スポーツクラブ、都会の大学のクラブの宿泊施設として活用</li> </ol>	<p>統合後の現校舎の利活用については、地域づくりの観点からも重要であり、第8次河北町総合計画後期基本計画策定における重要な課題の一つであり、それぞれの地域住民の意見を十分うかがいながら検討する必要があると認識しております。</p> <p>いただいたご意見については、今後の参考とさせていただきます。</p>
<p>33</p>	<p>パブリックコメントの募集方法に重大な問題がある。</p> <p>検索しないと「見つけられない、募集を知ることができない」のはおかしい。河北町 Web トップページ「重要なお知らせ」か「新着情報」に表示しないのはおかしい。</p> <p>今回のパブリックコメントの結果公表の日時と場所が告知されていない。募集期間 9/1～9/14とあるが、どんがホールにパブリックコメントの情報が設置されたのが9/6頃であり、遅すぎる。募集期間が短すぎる。最低でも30日は必要。パブリックコメントを軽視しているのではないか。</p>	<p>パブリックコメントの実施にあたっては「河北町パブリックコメント手続に関する要綱」に基づき実施しております。</p> <p>公表及び周知の方法については、要綱第6条(1)実施機関が指定する場所での閲覧及び(2)町のホームページへの掲載としており、ホームページでの掲載方法についてはご指摘のあったご意見を参考とし、より見つけやすい配置となるよう改善してまいります。</p> <p>どんがホールにつきましては、役場の近隣施設であることから、閲覧場所として設定しておりませんでした。設置のご希望があったことから、募集期間途中での設置となりました。募集期間についても、より多くの意見をいただけるよう検討してまいります。</p>

34	<p>施設の維持管理のランニングコストはちゃんと計算しているのか。少子高齢化のこの時代に箱モノを作るリスクは考えているのか。建てることだけに固執していないか。</p>	<p>財政面につきましては、今後、学校整備委員会（仮称）を設置し「基本構想・基本計画」を策定していく過程において、ランニングコストや有利な財源等について、より具体的に検討してまいります。</p>
35	<p>旧校舎の廃止や取り壊しのコスト、活用案などはちゃんと話し合われているのか。廃止になった建物の取り壊し完了に至るまでのランニングコストも見積もるべき。</p>	<p>統合後の現校舎の利活用については、地域づくりの観点からも重要であり、第8次河北町総合計画後期基本計画策定における重要な課題の一つであり、それぞれの地域住民の意見を十分うかがいながら検討する必要があると認識しております。</p>
36	<p>基本方針案が理解しづらい。概要版がほしい。</p>	<p>基本方針策定後に町報等で概要をお知らせしてまいります。</p>
37	<p>少子化なのは分かるがそれは日本全体の課題であり、河北町としての課題が見えないので提言のしようがない。少子化による施設の新設の必要性は分かるが、ならば河北町としてどのような攻めの姿勢で他の市町村に勝っていくつもりなのか？</p>	<p>町の子どもたちにとって最適な学びの環境を整えるという視点に立ち基本方針を策定しております。</p> <p>少子化の問題につきましては、当町においても大きな課題の一つであり、先送りできない重要な課題であると認識しております。子育て支援の各種施策を実施しているところではありますが、少子化の課題解決は第8次河北町総合計画後期基本計画における最も大きな検討課題の一つであると考えております。</p>

38	<p>方針案は一部賛成だが、納得に至らない。説明が少なすぎる。</p> <p>廃止する建物のランニングコストや、新設校舎の10、20年先の運用方針などを知ってから賛成したい。10～20年後に河北町が「どうなっているか」だけで判断するのは、あまりにも場当たり的で、10～20年後に河北町を「町民はどうしたいのか」を含めて具体策を考えるべきでは。予算をもっと教育にもかけるべき。学校教員の待遇を地域ならではの施策で改善すべき。</p>	<p>基本方針の策定過程においていただいた多くの意見につきましては、これから策定に着手します基本構想・基本計画及び第8次河北町後期基本計画等において、議論検討を重ね対応してまいります。「基本構想・基本計画」についても、説明会の開催や町民の皆様からのご意見をいただき策定してまいります。</p>
39	<p>うまくいっている事例だけでなく、うまくいっていない事例もちゃんと調査すべき。</p>	<p>今後様々な事例を調査したうえで進めてまいります。</p>
40	<p>大勢の町民(100名以上)が参加する形のしっかりとした説明会を開催すべきでは。</p>	<p>基本方針(素案)を策定する過程におきまして、各地区での説明会を開催させていただいております。今後「基本構想・基本計画」を策定していく際にも、各地区での説明会の開催や広報、町ホームページでの周知をしてまいります。「基本構想・基本計画」についても、説明会の開催や町民の皆様からのご意見をいただき策定してまいります。</p>
41	<p>少子化が進行しているのは分かるが、少子化に対する町の具体的な施策が見えない。場当たり的な判断ではなく、河北町の人口減対策込みの推移データをもとに方針案を考えるべきではないか。</p>	<p>町子どもたちにとって最適な学びの環境を整えるという視点に立ち基本方針を策定しております。</p> <p>少子化の問題につきましては、当町においても大きな課題の一つであり、先送りできない重要な課題であると認識しております。子育て支援の各種施策を実施しているところではありますが、少子化の課題解決は第8次河北町総合計画後期基本計画における最も大きな検討課題の一つであると考えております。</p>

42	<p>基本方針案では新設学校での様々な方針や目標が掲げられている一方、それぞれを具体的にどのように実行実現していくのかがあまり書かれていない。</p>	<p>今後、学校整備委員会（仮称）を設置し「基本構想・基本計画」を策定していく過程において、または開校準備委員会（仮称）においてより具体的に検討し、令和8年度に策定する第3次河北町教育振興計画にも反映させてまいります。</p>
43	<p>基本方針案に反対。</p> <p>小学校を1校にし、小中一貫校になったら先人たちが長年かけて造り上げた地域はどうなるのか。財政面でも町の負担が増えると思う。また、学校のない地域の衰退につながり、若い人が住まなくなってしまうのではないか。河北町全体の振興に逆行してしまうのではないか。</p>	<p>児童生徒数の減少に伴う教育環境の変化に対応し、子どもの学びの環境を第一義として考え、これからの時代を担う子どもたちにより良い教育環境を提供していくために、基本方針をまとめております。一方、小学校の統合が与える地域コミュニティへの影響が大きいことも認識しております。</p> <p>基本方針を受けてこれから策定に着手します基本構想・基本計画を踏まえながら、現校舎の活用も含め新たな視点に立った地域づくりの方向付けなど、第8次河北町後期基本計画等の重要な検討課題の一つとして位置付けてまいります。</p> <p>財政面につきましては、今後、学校整備委員会（仮称）を設置し「基本構想・基本計画」を策定していく過程において、ランニングコストや有利な財源等について、より具体的に検討してまいります。</p>

44	<p>答申で示された「小学校の在り方に関する基本的な考え方」に対する議論が不十分。目指すべき町の教育、それを実現するための小学校の在り方について再度検討すべきと考えます。従って、方針で示された令和13年度に向けた「施設一体型一貫校」への整備案には賛成できません。</p>	<p>あり方検討委員会では、地区懇談会、町民参加型の検討委員会の意見等を参考にしながら「町立小学校のあり方について（答申）」をとりまとめ、教育長に答申されました。</p> <p>これを受けて教育委員会では答申内容を、教育委員会議、総合教育会議、町議会に報告し、広報かほく・町ホームページにて周知するとともに、これまでの検討経過や検討委員会による答申を尊重しながら「基本方針（素案）」を策定しました。さらに、「基本方針（素案）」について各地区での説明会や、幼稚園・認定こども園での説明会及びウェブでのアンケートを行い、ご意見をいただいたうえで、基本方針（案）を策定しております。</p> <p>基本方針の策定過程においていただいた多くの意見につきまして、これから策定に着手します基本構想・基本計画及び第8次河北町後期基本計画等において、議論検討を重ね対応してまいります。</p>
----	---	--

45	<p>あり方検討委員会での「適正規模・適正配置」は、初めに「適正」ありきの諮問で議論をミスリードしたのではないか。</p> <p>「適正」の意味するところは、急激な児童減少が進み、文科省の示すところのそれを満たすことが困難になるので是正が必要との前提から議論が展開されている。</p> <p>「適正規模」については、児童数の減少により複式学級の導入など具体的に児童数減少の推移などの資料が示され、課題の理解はなされたと考える。一方「適正配置」については、端的に現在の6校の配置が適正でなくなるということになる。</p> <p>適正配置の課題には学区の再編成や地域の教育力の育成等、これまでの教育振興計画で示された方針を転換する重要な課題を含み、単に物理的な要因を先に議論されるべきではないと考えるが、その議論がアンケート調査や地域の懇談会でなされたとは思わない。少なくとも6校を基準に展開してきた教育振興政策の成果と課題を検証・総括したものを示して「適正配置」の議論を提起すべきでは。急激な児童減少の中で本町が目指すべき教育、学校運営の道筋を明らかにして議論の出発点にすべきと考える。</p>	<p>子どもたちにとって最適な学びの環境を構築するためには、一校に統合することが最適であると考えております。</p> <p>基本方針の策定過程においていただいた多くの意見につきましては、これから策定に着手します基本構想・基本計画及び第8次河北町後期基本計画等において、議論検討を重ね対応してまいります。「基本構想・基本計画」についても、説明会の開催や町民の皆様からのご意見をいただき策定してまいります。</p>
----	--	---

46	<p>地域と学校のつながりを深めるのか疑問。</p> <p>児童数の減少が地域にもたらす影響を広範に渡って議論すべき。</p> <p>単に、伝統活動継承や体験学習が大勢になったから可能になるという問題ではない。これまでの地区で交流を担ってきた経験や実績をどう継承発展させるのか各地域で実情は違うので、全体化した議論ではなく、各地域と学校でそれぞれ実情にあった議論を重ねる必要があるのではないか。</p>	<p>基本方針は、児童生徒数の減少に伴う教育環境の変化に対応するため、子どもの学びの環境の改善を中心に据えており、学校を統合し、教育面の充実を図ることで魅力ある河北町を目指すこともまちづくりの観点から重要であると考えます。</p> <p>学校と地域のつながりにつきましては、本町では学校と地域住民が協働して学校運営に取り組む「コミュニティ・スクール」を全小中学校で導入し、地域と一体となって特色ある学校づくりを行っており、小学校の統合が行われても、より大きな枠組みで取り組みを継続できるものと考えております。一方、小学校の統合が与える地域コミュニティへの影響が大きいことも認識しております。</p> <p>統合後の現校舎の利活用については、地域づくりの観点からも重要であり、それぞれの地域住民の意見を十分うかがいながら検討する必要があると認識しております。</p> <p>基本方針を受けてこれから策定に着手します「基本構想・基本計画」を踏まえながら、現校舎の活用も含め新たな視点に立った地域づくりの方向付けなど、第8次河北町後期基本計画等の重要な検討課題の一つとして位置付けてまいります。</p>
----	---	--

47	<p>多様性、社会性を生む教育は一定の母集団が必要か。</p> <p>多様性、社会性を学ぶ環境を整えるには、一定の集団との関わりが必要という前提は理解できるが、少人数の集団がそれを妨げる要因になるとは思えない。集団の規模（環境）の問題というより、学校教育における集団活動（縦型交流・他校交流・地域交流）やその体験活動を支える教育環境をいかに充実させていくかという問題ではないか。</p>	<p>小学校を1校に統合し一定の規模を確保することにより、クラス替えが可能になり人間関係が固定されないというメリットがあると考えます。また他者とのつながりが広がる、コミュニケーション能力が高まる、集団での振る舞いが身につく社会性が育つ、他の児童生徒や多数の教員の考えに触れ多様性が身につく、という点に教育的価値があるものと考えます。</p> <p>基本方針の策定過程においていただいた多くの意見につきましては、これから策定に着手します基本構想・基本計画及び第8次河北町後期基本計画等において、議論検討を重ね対応してまいります。</p>
48	<p>小中一貫校の設置について、どのようなものになるのか、町民に提示し議論の場を設けるべき。文科省の資料による説明とそれを受けた町の目指す小中一貫教育の推進を、この内容で町民に理解を求めることは無理がある。「仕方ない」「一つでもいいか」という負のイメージから将来のあるべき姿を語ることはできない。統合した場合、児童生徒に及ぼす影響を具体的に挙げ、地域ごとに十分な説明と議論を行っていくよう求める。</p>	<p>子どもたちにとって最適な学びの環境を構築するためには、一校に統合することが最適であると考えております。</p> <p>基本方針の策定過程においていただいた多くの意見につきましては、これから策定に着手します基本構想・基本計画及び第8次河北町後期基本計画等において、議論検討を重ね対応してまいります。「基本構想・基本計画」についても、説明会の開催や町民の皆様からのご意見をいただき策定してまいります。</p>
49	<p>このパブリックコメントも、住民の意見反映を求める時、世論形成を既成事実化してを進めないようお願いしたい。今回のような賛否が分かると予想される課題について、アンケートや懇談会を実施した実績を挙げて意見反映なされた結論づけ、小中一貫校を加速することはないように願う。</p>	<p>今後も町民の皆様からいただいたご意見を、議論検討を重ね対応してまいります。「基本構想・基本計画」についても、説明会の開催や町民の皆様からのご意見をいただき策定してまいります。</p>

50	<p>小学校の1校統合に反対。せめて複数に。 小中一貫校はいじめ・不登校が増えることが予想され、国・町の自殺防止対策に逆行します。</p>	<p>小学校の1校統合については、一定の規模を確保することにより、クラス替えが可能になり人間関係が固定されないというメリットがあります。また他者とのつながりが広がる、コミュニケーション能力が高まる、集団での振る舞いが身につく社会性が育つ、他の児童生徒や多数の教員の考えに触れ多様性が身につく、という点に教育的価値があるものと考えます。複数校へ統合した場合は、統合後すぐにクラス替えができない状況になること、児童が2度の統合を経験する可能性があり、子どもたちにとって最適な学びの環境を構築するためには、1校に統合することが最適であると考えます。</p>
51	<p>小中一貫校と小学校の統合に反対</p>	<p>なお、基本方針の策定過程においていただいた多くの意見につきましては、これから策定に着手します「基本構想・基本計画」及び第8次河北町総合計画後期基本計画等において、議論検討を重ね対応してまいります。</p>
52	<p>現在40代の親族が2人おり、どちらも分校で学んだ。皆仲良く楽しい学校生活だったようだが、できれば子供の頃にもっとたくさんの上級生・下級生と一緒にいる学校に行けたらな、と思っていたそう。</p>	<p>子どもたちにとって、最適な学びの環境を構築するためには、1校に統合することが最適であると考えております。</p> <p>児童生徒数の減少に伴う教育環境の変化に対応し、子どもの学びの環境を第一義として考え、これからの時代を担う子どもたちにより良い教育環境を提供してまいります。</p>